

科目名	看護と倫理Ⅱ (看護倫理)				DP1 DP2 DP6	看護高等課程	
学年	2 年	分野	専門分野 基礎看護	時間数	20 時間	担当教員	市川 豊子
科目概要	看護倫理は看護活動の向かうべき方向や、看護活動時に判断基準、拠り所となる規範である。そのため、看護職に求められる倫理や看護の場で生じやすい倫理上の問題の背景を知り、事例を考察することで倫理的態度を培う基盤としていく。						
到達目標	1. 看護の倫理規定の基本を理解し、看護の場で生じがちな倫理上の問題をクリティカル・シンキングし、准看護師としての行動の基盤にする。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1	看護職者と倫理		看護職者としての倫理とは、職業倫理と倫理原則、看護の場における倫理、看護におけるケアの倫理、倫理的ジレンマ			講義	市川
2～10	看護の場で生じやすい倫理上の問題とその対応		患者の立場から看護職者の倫理を考える			演習	
			現代の医療における倫理的問題 (在宅療養をめぐる倫理、死をめぐる倫理、生殖にかかわる医療と倫理的課題)			演習	
	事例検討		倫理カンファレンス（臨床倫理の4分割法）			演習	
	まとめ 試験					試験	
評価基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と演習への参加態度、ペーパー試験、パフォーマンス課題やルーブリック評価に基づき内容等を吟味して総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門 5 基礎看護Ⅰ 看護概論 プチナース よくわかる看護職の倫理綱領 昭林社 適宜、資料を配布する。						
履修上の 注意点							